

GLOBAL OREC SPECIAL ISSUE
Story From People in France

世界のぶどう畑は 草刈機で 自然派に変わる



フランスのぶどう畑を訪ねた、ある初夏の日。まだ小さく青い実をつけたぶどう棚の間を、ORECの乗用タイプ草刈機・ラビットモーターが爽快に走っていました。

このラビットモーターは、シャンパーニュ地方からのオファーで特別に開発された機種です。信頼のおけるMade in Japanの製品として、長い長い船旅を経て、この地に到着しました。ぶどう棚の間を歩き来するしっかりとした足取りは、シャンパンの原材料を育てる人々の頼もしい相棒のようです。周囲には、美しい丘陵とシャンパンが誕生した村。見渡す限り、隅々まで草を刈る姿は、その歴史的な風景とシャンパーニュ地方の農業を未来につなぐための様でもありました。



草刈りがらくになれば 環境にやさしい農業ができるということ



1. シャンパーニュ地方のディーラー「COLLARD」の2代目。2. ボルドー地方のぶどう畑ではたらく若手農園スタッフ。3. 「CHAMPAGNE GRUET」のマダム。4. ボルドー地方のグラン・クリュ（特級畑）を手入れるマダム。



今、ORECの草刈機は、世界各国において、注目を集め始めています。環境にやさしい農業を実現したい、安全・安心な農作物のために貢献したい。「草と共に生きる」。ORECはその想いを出発点に、すべての草刈機を開発してきました。

草がよく伸びる夏の草刈りは、想像を絶するほどに大変な作業です。しかし、製品の性能を高めることで作業をする人の体力の消耗を抑えることができます。また、草刈機で除草ができれば、自然にやさしい農法、たとえば草と共存する「草生栽培※」などに切り替えることもできます。

そうやって育てられた作物は安全・安心で価値あるものとして流通し、生産者も消費者も笑顔になれる。このように素敵な連鎖は、もうすでに、世界のあちこちではじまっています。

※土を覆った草を定期的に刈ることで、有機物を土に還元し、栄養のある土を育てる農法です。草の根は、土の中に酸素や水分を供給し、有益な微生物の活動を促進します。さらに、天敵となる害虫を草に誘導することによって、作物への被害を軽減し、農薬の使用を抑えることもできます。